

**1. 東日本大震災被災地支援の取り組みを！**

○ 東日本大震災支援は引き続き重要な課題です。池田町は現在募金活動を行っていますが、被災地支援は長期に及ぶと考えられます。今後の被災地支援についての町の考えをお聞きします。

町にある被災地支援の民間の支援組織では、冬に備えて被災地のニーズに合った支援物資を現地に送ることを計画していると聞いています。これらの団体から町に要望があった場合、積極的に支援をしていただきたいと思います。いかがでしょう。

また、今後、作業ボランティアを被災地に派遣する際、町のバスを利用させていただきたいという要望もありますが、いかがでしょう。

○ 池田町への被災者を受け入れはどのような状況でしょうか。最近、町内に空家が増えています。回覧版などを利用して、町の「空家等活用情報システム」を町民に知らせ、空家に関する情報を町に寄せていただき、町のホームページでの空家情報を増やし、被災者を受け入れる条件づくりをしていただきたいと思います。いかがでしょう。

**2. 池田町防災会議を開催して防災対策の推進を！**

① 6月議会で防災対策の検討事項であった「池田町地域防災計画」の見直しはどこまで進んでいるのかお聞きします。具体的には、防災会議は開かれ、専門委員の選定はされたのでしょうか。第1次避難場所、避難ルート、防災訓練の内容はどのように検討されたのでしょうか。

○ 9月14日公民館で行われた防災講演会で信州大学名誉教授の小坂共栄先生は「糸魚川静岡構造線上にある池田町は地震災害の危険性が高まっており、震度7クラスの激震に見舞われる危険性がある」と警告されました。また、「地震が起きた時、被害を最小限に抑えるための防災対策は今から十分に検討し、訓練していくことが重要」と指摘されました。防災会議を早急に開き、専門委員に学識経験者を選定し、減災の観点から防災対策上の課題を洗い出して、検討すべきと考えますが、いかがでしょう。特に、高齢者、障害者、病弱者などの避難施設である「福祉避難施設」の体制、自主防災組織の活性化、隣組などの支援協力体制の強化など課題を明確にし、それをいかに進めるかを検討して防災訓練に活かしていくことも必要と考えますがいかがでしょう。

○ 第1次避難場所を確定されたそうですが、第2次避難場所、避難施設の役割を含め、町民に周知徹

底を図ること、また、今回指定された第1次避難場所（各地区の集会場）で耐震化されていない5集会施設（三丁目、花見、渋中、鶴山、広津）は国の助成制度（地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金）を活用したらと考えますが、いかがでしょう。

○ 災害時に高齢者、障害者、病弱者などの要援護者をどのように支援するかが重要です。池田町でも具体的な支援プランマニュアルを作成し、町民に公開し、周知を図れたらと考えますが、いかがでしょう。

○災害時土砂災害危険区域内の災害弱者関連施設である「特別養護老人ホームライフ」と「白樺の家」の災害時救援対策はどのようになっているかお聞きします。

○2丁目の自主防災会が取り組まれている災害時自宅から避難する際の玄関先に掲げる「安否確認プレート」及び1cmの隙間があれば持ち上げられるジャッキなどは素晴らしいアイデアです。町も補助金を出すなどの措置をとり、これらを全町に普及させたら考えますが、いかがでしょう。

○避難路と想定される道路沿いのブロック塀などの危険構造物の点検を自主防災会と連携して行い、その改修に助成金制度を創設するなどの対策をたてる必要があると考えますが、いかがでしょう。

② 池田町の空気、米、下水処理場の汚泥の放射能汚染状況は県の検査では問題なしとの結果でした。しかし、池田町は新潟県の柏崎刈羽原発、石川県の志賀原発、静岡県浜岡原発に囲まれ一旦福島原発のような事故に見舞われると、大きな被害が予想されます。

静岡県の浜岡原発から60Km先にある湖西市長は脱原発の運動を全国の自治体の長に呼び掛け“脱原発”の新団体の創設を目指されています。氏はブログで次のように述べています。

「私は元々、原子力発電に反対で、国会議員の方々とも激論を戦わせてきました。彼らは『万全の対策がとられており大丈夫だ』と言っておりました。だがそうではありませんでした。」

氏は原発反対の理由として、人間の犯すミス、地震・津波大国での原発の危険性、処分できない使用済み核燃料などをあげ、火力やクリーンエネルギーへの切り替え、夏の2割節電で原発は廃止可能としています。更に、氏は「原子力発電の存続をめぐる世論は真二ツです。そんな時こそ首長は十分に研究してどちらかを明言すべき時なのです。」と。

勝山町長も湖西市長の呼び掛けに応えていただきたいと考えますが、いかがでしょう。

6月議会でお願した「放射能災害から身を守る方策」の周知も早めをお願いします。

### 3. 住みよい町づくりの推進を！

**①北保育園の跡地を子どもや年配者が楽しめる公園に！また、公園建設案の検討は町民参加で。**

○池田町にはクラフトパークに立派な公園があり利用されております。しかし、池田町北部の町なかに子どもや年配者が楽しめる大規模な公園がありません。このため、わざわざ松川村の公園までつれて行く人が多いと聞きます。町中に公園を求める声は若い世代から年配者まであります。

北保育園の跡地を子どもや年配者が楽しめる公園にし、町民の交流の場にしたらどうでしょうか。

○公園建設案の検討は、専門家も参加した町民参加のワークショップ方式で行ない、楽しめる公園が望ましいと考えますが、いかがでしょうか。

**②安曇総合病院の中病棟改築に町の支援を！病院周辺の交通安全確保を！**

○安曇総合病院中病棟は耐震性の問題もあり改築を検討していると聞いています。町民にかけがえのない病院であり、今後改築に向けての動きのなかで町として財政的支援をどのように考えておられるか、お聞きします。

○県道上生坂信濃松川停車場線から病院までの町道には歩道が整備されておらず、行き来する人が危険を感じており（特に杖歩行の人）、歩道整備が必要です。また、病院入口の県道上生坂信濃松川停車場線には信号機がないため非常に危険で、交通事故も起きていると聞いています。感応式信号機の設置が必要です。安曇総合病院は多くの人が集まる地域にとって重要な施設です。その病院周辺の交通安全確保に繋がる歩道整備と信号機の設置を早期に実現して欲しいと考えますが、いかがでしょうか。

**③町の建設工事を分離・分割発注し、町の業者に仕事を！小規模工事契約希望者登録制度を導入し町内の小規模事業者を受注機会の拡大を！入札に最低制限価格制度の導入を！公契約条例の制定を！**

○町に関連する工事として、小規模多機能介護施設、保育園、給食センターなどの建設工事が今後予定されています。国は中小企業者の受注機会を増大させる措置として工事の分離・分割発注の推進を指導しています。池田町も工事区分（建設工事、電気工事、管工事、舗装工事など）ごとに分離・分割発注することを設計・管理者に行わせ、町業者の仕事を増やす措置をとるべきと考えますが、いかがでしょうか。また、契約した建設業者に町の業者を下請けに入ってもらえるような措置をとってほしいと考えますが、いかがでしょうか。

○小規模契約工事（修繕）希望者登録制度は地方自治法第 234 条に基づく随意契約のなかで、自治体が発注する土木、建築、電気、内装仕上げ、板金、塗装、ガラス、造園など多岐にわたる小規模工事（修繕）に、小規模事業者が登録し、優先的に業者選定の対象となれる制度です。平成 9 年 4 月 10 日現

在全国の 411 自治体で実施され、県内でも 8 自治体が実施しています。池田町でも町内小規模事業者の受注機会の拡大を図るため是非制度化して欲しいと考えますが、いかがでしょう。

○入札する場合、多くの自治体で最低制限価格制度を設けています。この制度は予定価格の一定%以下の入札額は失格とする制度で、契約工事の品質低下防止、下請け業者へのシワ寄せ防止、作業の労働者の賃金低下防止などの点から必要な制度と考えます。池田町でも落札基準に最低制限価格を設けるべきと考えますが、いかがでしょう。

○本年 5 月 10 日、大北建設労働組合から公契約条例の制定を求める請願書が出されました。近年国や自治体の公共工事が減少するなか、企業間の競争が激しくなり、建設現場で働く下請け、孫請けの労働者の賃金が大幅に下がっています。公共工事設計労務単価もピーク時の半分程度となり、県内の大工の単価もピーク時の 70%程度まで下がっていると聞いています。町の工事に従事する労働者の生活を保障する労働単価を法的に担保する公契約条例を池田町でも制定すべきと考えますが、いかがでしょう。

#### **④農業の振興により田園風景を保全し、「美しい町づくり」の推進を！**

○この 8 月 10 日に「池田町美しいまちづくり推進委員会」が住民参加で発足しました。池田町が「美しい村」連合加盟が承認された際、資格審査委員会の意見として「都市化の波により安曇野の田園風景の喪失に歯止めが必要」との強い意見が出されたと聞いています。この対策として「池田町の土地利用及び開発指導に関する条例」が策定され、施行になります。しかし、高齢化などにより稲作づくりを止める人が増え、田園風景の保全がされなくなることが心配です。新たな稲作の担い手を増やす対策が求められています。

池田町の水田農業の推進計画では、消費者から信頼される環境にやさしい、安心・安全で売れる米作りを目指すとしています。池田町には県内でも有数な有機・減農薬の稲作を行っている人たちがいます。土づくりと苗づくりをしっかりと行えば少々の草が生えても稲はしっかり生育し、環境にやさしく安全で美味しい有機米ができ、収量も遜色ないと聞いております。これらの人たちに協力を得ながら、池田町を「有機・減農薬米の里」とし、そのなかで稲作担い手を増やす方策を進めていただきたいと考えますが、いかがでしょう。

**⑤NHK 朝の連続ドラマ「おひさま」のロケ地めぐりバスツアーの実施を！**6 月議会で提案した左記バスツアーの実施およびツアー客が町で買い物できるようなコース設定をお願いします。